

IV. 研究計画

1 研究主題

よりよい自分づくりをめざす子どもの育成
国語を中心にして

2 よりよい自分づくりのとらえ方

「よりよい自分づくり」の基盤として、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けること、関心・意欲や思考力、判断力、表現力等を高めること、それを実生活で生きてはたらく力とすることが必要である。そして、これらの力が相互に関連し合い、深化、総合することにより、子ども一人一人は、「やってよかった」「もっとやってみたい」と自ら思える自己効力感を得る。その結果、今の自分よりさらによりよい自分をめざし、歩みを進めようとする。

これが、「よりよい自分づくり」をめざそうとする子どもの姿である。

3 めざす子ども像

- ・自分の思いや考えをもち、のびのびと表現する子（表現力）
- ・お互いの考えを認め合い、高め合い学び合う子（思考力）
- ・学んだことを生かし、自ら実践する子（実践力）

4 研究目標

- ①日常的な「話すこと・聞くこと」の指導により、児童の「伝え合う力」を高める。
- ②国語の授業実践を通して、めざす子ども像に示す「表現力」「思考力」「実践力」を身につけさせるための効果的な指導法を明らかにする。
- ③豊かな言語活動を体験させることにより、児童の「国語への関心」を高める。

5 研究内容

(1) 「伝え合う力」を高める取り組み

○基盤的な取り組み

学年に応じた「話す・聞く」のめあての設定、話型の揭示、声のダイヤル、口の体操、相手意識、聞く姿勢、「話す・聞く」のスキル学習など

○伝え合う場の設定

学習発表会、人権集会、全校集会での音読（詩の暗唱）発表、他学年との交流学习、学年集会、学級でのスピーチ、グループ発表など

(2) 「表現力」「思考力」「実践力」を高める取り組み（学力向上とも関連して）

○基盤的な取り組み

- ・音読 ・詩の暗唱 ・視写 ・お話ノート ・日記
- ・読書 ・国語辞典の活用（3年以上） ・言葉の学習 ・ノート指導

※北陽小学校必読図書（全員が必ず読む）

- 1年「花いっぱいになあれ」「みどりいろのたね」
- 2年「たんぼぼ」「コウテイペンギンのおやこ」
- 3年「ちいちゃんのかげおくり」「わすれられないおくりもの」
- 4年「龍の子太郎」「100万回生きたねこ」
- 5年「彼の手は語り継ぐ」「絵ときゾウの時間とネズミの時間」
- 6年「ふたりのイーダ」「生物の消えた島」

※三中校区暗唱文リスト（全員が暗唱できるようにする）

- 1年「かぞえうた」「あひるのあくび」
- 2年「おがわのはる」「たけのこぐん」
- 3年「ゆうひがせなかをおしてくる」「じゅげむ（名前部分）」
- 4年「ふしぎ」「よかったなあ」「清水（音読のみ）」
- 5年「竹取物語」「百人一首」
- 6年「枕草子」「平家物語（冒頭のみ）」

○指導内容の明確化

「読むことに関する身につけさせたい力の系統図（三中校区小中一貫教育）」を活用し、学年相応の「読むこと」の力を身につけさせる。

○全員参加の学習過程

- ・発問に対して自分の考えを書く→ペア対話（グループ対話）→全体対話
- ・誰もが安心して自分の考えを言える学級づくり

○自分の考えをもつための工夫

- ・書いてある言葉や文章を根拠として考えたり話したりする。
 サイドラインを引くなど
- ・「書く」活動の設定（下学年）
 ふきだし、ワークシート、登場人物への手紙、学習の感想など
- ・自ら学び、課題を解決していく学習過程（上学年）
 一人学びノート（予習）→全体学習（授業）

(3) 「国語への関心」を高める取り組み

○言語活動の工夫

- ・動作化 ・音読発表会 ・紙芝居 ・登場人物への手紙 ・詩や物語を書く
- ・短歌や俳句をつくる ・ディベート ・ポスタートーク など

○図書館教育との関連

- ・図書館利用指導 ・読書指導 ・読み聞かせ ・ブックトーク
- ・ストーリーテリング ・読書郵便 ・テーマを決めた読書
- ・おすすめの本の紹介 ・本の帯作り ・図鑑や事典を活用した調べ学習
- ・調べたことを壁新聞にまとめる ・調べたことからクイズを作る など